MetaMoJi Cloud と Microsoft Entra ID の連携ガイド

シングルサインオン/プロビジョニングの利用

第11版

- iOS は、Cisco の米国およびその他の国における商標または登録商標であり、ライセンスに基づき使用されています。
- Apple、iPad は、Apple Inc.の商標です。
- Microsoft、Excel、Internet Explorer および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Android、Google、Google Drive、Google Play は Google Inc.の商標または登録商標です。
- Apache、OpenOffice、Apache OpenOffice は Apache Software Foundation の商標です。
- その他記載された会社名、製品名等は、各社の登録商標もしくは商標、または弊社の商標です。
- 本書は株式会社 MetaMoJi が作成したものであり、マニュアルの著作権は、株式会社 MetaMoJi に帰属します。
- 本書の内容は予告なく変更することがあります。

2024年12月7日 ©2024 株式会社 MetaMoJi

目次

| 1. | はじめ | NZ | . 3 |
|----|------|---|-----|
| | 1.1. | 概要 | 3 |
| | 1.2. | 他のサービス | 4 |
| | 1.3. | 対象製品 | 4 |
| | | 1.3.1. アプリケーション・ツール | 4 |
| | 1.4. | MetaMoJi Cloud | 5 |
| | 1.5. | アカウント連携オプション | 5 |
| | 1.6. | 管理者ガイド | 5 |
| | 1.7. | すでに [他のサービスでログイン] をご利用中の方へ | 5 |
| 2. | Meta | MoJi CloudとMicrosoft Entra IDを連携する | . 6 |
| | 2.1. | 共通の設定 | 6 |
| | | 2.1.1. Web 管理ツールにログインする | 6 |
| | | 2.1.2. [カスタマイズ設定]を確認・変更する | 7 |
| | | 2.1.3. ユーザー情報を登録・確認する | 8 |
| | 2.2. | [他のサービスでログイン] の設定 | .10 |
| | | 2.2.1. Microsoft Entra ID に MetaMoJi Cloud の情報を登録する | .10 |
| | | 2.2.2. シングルサインオン情報を MetaMoJi Cloud に登録する | .16 |
| | | 2.2.3. Microsoft Entra 管理センターでユーザーを割り当てる | .18 |
| | 2.3. | ユーザー情報をプロビジョニングする設定 | .20 |
| | | 2.3.1. Web 管理ツールでプロビジョニングに必要な情報を記録する | .20 |
| | | 2.3.2. プロビジョニングで新規登録されるユーザーの初期状態を設定する | .20 |
| | | 2.3.3. プロビジョニング情報を Microsoft Entra 管理センターに登録する | .21 |
| | | 2.3.4. Web 管理ツールでユーザー情報を確認する | .23 |
| 3. | 付録 | | 24 |
| | 3.1. | ログアウト情報を追加登録する | .24 |
| | | 3.1.1. MetaMoJi Cloud のログアウトに必要な情報を記録する | .24 |
| | | 3.1.2. Microsoft Entra 管理センターにログアウトに必要な情報を登録する | 24 |
| | 3.2. | Windows 版でログイン・ログアウトすると、Microsoft Edge が起動する | .26 |

1. はじめに

本書では、最新版のeYACHO for Businessを使って説明しています。画面や利用できる機能が、お使いの対象製品と異なる場合があります。ご利用の製品に読み替えてご利用ください。

1.1. 概要

本書の設定をしてMicrosoft Entra IDと<u>MetaMoJi Cloud</u>のユーザー情報を連携すると、下記2つの機能をご利用いただけます。

他のサービスでログイン

<u>アプリケーション・ツール</u>の [他のサービスでログイン] 画面から、Microsoft Entra IDの認証画面を経由してログインできます。

① ログイン方法を選ぶ画面で、 [他のサービスでログイン] を押します。



② 法人 ID を入力し、「ログイン」を押します。



• <u>対象製品に含まれるツール</u>では、 [他のサービスのアカウントでログイン] を押します。 [他のサービスのアカウントでログイン] 画面が表示されたら [法人ID] を入力し、 [次へ] を押します。



③ Microsoft Entra ID の認証画面が表示されるので、Microsoft Entra ID のアカウントでログインします。

アプリケーション・ツールが開きます。

参考:3.2. Windows版でログイン・ログアウトすると、Microsoft Edgeが起動する (P.26)

設定方法:2.2. [他のサービスでログイン] の設定 (P.10)

ユーザー情報を Microsoft Entra 管理センターから MetaMoJi Cloud にプロビジョニング

最新のユーザー情報がMicrosoft Entra 管理センターからMetaMoJi Cloudにプロビジョニング (同期) できるようになります。(アカウント連携オプションが必要です。)

プロビジョニングを開始したあとは、Web管理ツールではなく、Microsoft Entra 管理センターで対象製品を利用するユーザーの管理(新規追加・変更・削除)を行います。

設定方法: 2.3. ユーザー情報をプロビジョニングする設定 (P.20)

1.2. 他のサービス

現在ご利用いただける他のサービス(IdP)は、Microsoft社の [Microsoft Entra ID] です。

• [IdP] とはIDプロバイダのことです。

1.3. 対象製品

- eYACHO forBusiness
- GEMBA Note for Business
- MetaMoJi Share for Business
- MetaMoJi ClassRoomは、別文書 MetaMoJi ClassRoomにMicrosoftアカウントでログインする をご参照ください。

1.3.1. アプリケーション・ツール

アプリケーション

- eYACHO for Business 6
- GEMBA Note for Business 6
- MetaMoJi Share for Business 6

対象製品に含まれるツール

- MetaMoJi アシスタント
- MetaMoJi Cloudツール

1.4. MetaMoJi Cloud

アプリケーション・ツールで作成した文書や、Web管理ツールの設定(MetaMoJi Cloudのユーザー情報を含む)などを、インターネット上のサーバーで安全に保管・管理するMetaMoJiのクラウドサービスです。

1.5. アカウント連携オプション

プロビジョニングの利用には、[アカウント連携オプション]の追加購入が必要です。

[アカウント連携オプション]を購入すると、Web管理ツールに次のメニューが表示されます。

- Web管理ツールの [カスタマイズ設定] に、 [プロビジョニングの利用] が表示されます (P.6) 。
- Web管理ツールの「操作ログ」に、以下の操作が記録されます。

プロビジョニング:ユーザー追加

プロビジョニング:ユーザー変更

プロビジョニング:ユーザー変更(割り当て削除)

プロビジョニング:ユーザー削除

• 2024年7月より、 [他のサービスでログイン] は、オプションなしでご利用いただけるようになりました。

1.6. 管理者ガイド

ユーザーの登録方法などWeb管理ツールの使い方は、管理者ガイドでご確認ください。

- eYACHO/GEMBA Note for Business 6 管理者ガイド
- MetaMoJi Share for Business 6 管理者ガイド

1.7. すでに [他のサービスでログイン] をご利用中の方へ

2023年5月のアップデートより、<u>アプリケーション・ツール</u>からログアウトすると、Microsoft Entra IDからもログアウトできるようになりました。Microsoft Entra IDにログアウト情報を追加してご利用ください。

→ <u>3.1. ログアウト情報を追加登録する(P.24)</u>

2. MetaMoJi Cloud と Microsoft Entra ID を 連携する

2.1. 共通の設定

管理者ユーザーでWeb管理ツールを開き、「他のサービスでログイン」と「ユーザー情報をプロビジョニング」の共通設定をします。

2.1.1. Web 管理ツールにログインする

- ①Web ブラウザで、Web 管理ツールにアクセスします。
 - Google Chrome、Microsoft Edge、Safariの最新版をご利用ください。
 - Microsoft EdgeのInternet Explorerモード(IEモード)でのご利用は、サポート対象外です。



https://mps.metamoji.com/admintool

Web 管理ツール

- オンプレミス版ではご利用いただけません。
- Web管理ツールについては、管理者ガイドでご確認ください。
- ②ログイン画面に、次の情報を入力します。



- 法人ID
- 管理者のユーザーIDとパスワード
- ③ [ログイン] を押します。

Web 管理ツールにログインします。

2.1.2. [カスタマイズ設定]を確認・変更する

①Web 管理ツールにログインし(P.6)、[カスタマイズ設定]を選びます。



② [他のサービスでログイン] と [プロビジョニングの利用] を「利用する」にします。

| 他のサービスでログイン | 0 | 0 | 0 | ● 利用する | ○利用しない |
|-------------|---|---|---|--------|--------|
| プロビジョニングの利用 | 0 | 0 | 0 | ●利用する | ○利用しない |

- [プロビジョニングの利用]は、<u>アカウント連携オプション</u>を購入している場合に表示されます。
- ③画面右上にある [保存] を押します。



「保存しました。」と表示されます。

2.1.3. ユーザー情報を登録・確認する

2.1.3.1. ユーザー登録

対象製品をご利用いただくためには、MetaMoJi Cloudにユーザー登録する必要があります。

Microsoft Entra IDとMetaMoJi Cloudのユーザー情報を連携して<u>対象製品</u>を利用するためには、MetaMoJi Cloudの [ユーザーID] にMicrosoft Entra IDの [UserPrincipalName] を登録します。

- Web管理ツールでユーザーを登録済みの場合2.1.3.2 ユーザー情報を登録・確認する(P.9) の注意をご確認ください。
 - Web管理ツールの「ユーザー一括登録」からユーザー情報を変更することもできます。 一括登録するときも、注意をご確認ください。 ユーザーを一括登録する方法は、管理者ガイドをご参照ください。
- MetaMoJiのユーザーとしてはじめて登録する場合
 Microsoft Entra 管理センターのプロビジョニング機能で、MetaMoJiのユーザーとして自動登録することもできます。→ 2.3. ユーザー情報をプロビジョニングする (P.20)

限定ユーザー

招待する法人のMicrosoft Entra IDに 協力会社メンバーを登録している場合、<u>2.1.3.2</u>の②で eYACHOの限定ユーザーとして登録できるようになりました(2024年2月)。

- 登録後、協力会社のメンバーは、招待する法人に登録されたMicrosoft Entra IDで <u>[他のサービスでログイン</u>] し、限定ユーザーとしてeYACHOを利用できます。
- 限定ユーザーは、プロビジョニングを利用できません。
- 限定ユーザーについては、管理者ガイドでご確認ください。

2.1.3.2. ユーザー情報を登録・確認する

- ①Web 管理ツールにログインし(P.6)、[ユーザー管理]を選びます。
- ② [登録されているユーザーの一覧] 画面の下部にある [ユーザーを新規登録] を押します。
 - 登録済みのユーザーは、名前を押します。 [ユーザー情報の変更] 画面で情報を確認・変更できます。
 - 限定ユーザーを登録する場合は、 [限定ユーザー] タブを選びます。



③ユーザー情報を登録・確認します。

注意: Microsoft Entra IDと連携するために、以下のように設定します

- [ユーザーID(社員番号など)] に [Microsoft Entra ID] の [UserPrincipalName] を入力する
- [他のサービスでログイン] で [利用する] を選ぶ





[限定ユーザー]



- 表示される項目は、購入している製品やオプションによって異なります。
- 4 [登録]を押します。
- ⑤ 手順3~4を繰り返して、ユーザー情報を登録します。
- ⑥ 登録が終わったら、 [閉じる] を押します。
- ⑦ [追加されたユーザーの一覧] 画面が表示されるので、 [確認] を押します。 ユーザーが登録されます。

2.2. [他のサービスでログイン] の設定

[他のサービスでログイン] できるように設定します。2.1. 共通の設定(P.6) をしたあとで操作します。

2.2.1. Microsoft Entra ID に MetaMoJi Cloud の情報を登録する

2.2.1.1. MetaMoJi Cloud のシングルサインオン情報を記録する

2.2.1.1.1. Web 管理ツールで ID プロバイダの設定画面を表示する

① Web 管理ツールにログインし($P.\underline{6}$)、 [他のサービスでログインの設定] を選びます。



② [ID プロバイダ設定] 画面で [詳細設定] を押します。



2.2.1.1.2. MetaMoJi Cloud のシングルサインオン情報を記録する

- ① [シングルサインオン (SAML)] タブが選ばれていることを確認します。
 - [プロビジョニング (SCIM)] タブは、<u>アカウント連携オプション</u> (P.<u>5</u>) を購入すると表示されます。



② [アプリケーション名] [識別子(エンティティ ID)] [応答 URL(Assertion Consumer Service URL)] 「ログアウト URL〕を記録します。

「識別子(エンティティ ID)」について

MetaMoJiで複数の法人IDをご契約されている場合、Microsoft Entra IDへ法人ID別の「識別子(エンティティID)」を設定できるようになりました(P.13)(2023年10月)。

オンにすると、法人IDを含むURLが表示されるので、記録します。

識別子(エンティティID):https://mps.metamoji.com/TJ111111

☑ (複数の法人IDをご契約のお客様のみ) EntraIDに対し複数のエンティティIDを設定する場合はこちらをチェックしてください。

2.2.1.2. Microsoft Entra 管理センターに MetaMoJi Cloud を登録する

2.2.1.2.1. Microsoft Entra 管理センターにサインインし、ID を選ぶ

- ①管理者権限のあるアカウントで Microsoft Entra 管理センターにサインインします。
 - 管理者権限があるユーザーを確認・追加する方法は、Microsoft Entra管理センターのマニュアルなどでご 確認ください。
- ② [ID] を選びます。



2.2.1.2.2. シングルサインオン対象アプリケーションに MetaMoJi Cloud を登録する

① 「アプリケーション」 > 「エンタープライズアプリケーション」を選びます。



② [+新しいアプリケーション]を選びます。



③ [+独自のアプリケーションの作成]を選びます。



④ [独自のアプリケーションの作成] 画面で、2.2.1.1.2MetaMoJi Cloud のシングルサインオン情報を記録する (P.10) の [アプリケーション名] を入力します。



- ⑤ [ギャラリーに見つからないその他のアプリケーションを統合します]を選びます。
- ⑥ [作成] を押します。

2.2.1.2.3. シングルサインオンの情報を登録する

① [シングルサインオン] を選び、 [SAML] を選びます。



② [①基本的な SMAL 構成] の [</br>



③ <u>2.2.1.1.2MetaMoJi Cloud のシングルサインオン情報を記録する(P.10)</u>の[識別子(エンティティ ID)][応答 URL(Assertion Consumer Service URL)][ログアウト URL]を入力します。



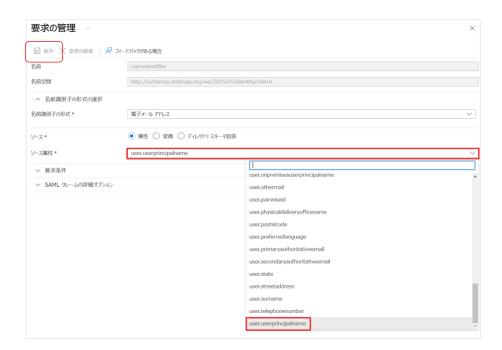
④ [②属性とクレーム] の [< 編集] を押します。



⑤ [一意のユーザー識別子(名前 ID)] が「user.userprincipalname」であることを確認します。



「user.userprincipalname」ではない場合、次の手順で変更します。[一意のユーザー識別子(名前ID)]を押し、「ソース属性」から「user.userprincipalname」を選び、[保存]を押します。



● [一意のユーザー識別子(名前ID)] 以外は、*** > 「削除」から削除しても問題ありません。



2.2.2. シングルサインオン情報を MetaMoJi Cloud に登録する

2.2.2.1. Microsoft Entra 管理センターでシングルサインオン情報をダウンロード・記録する

① [③SAML 証明書] の [証明書 (Base64)] にある [ダウンロード] を押します。 証明書がダウンロードされます。



- ② [④〇〇のセットアップ] の [ログイン URL] を記録します。
 - を押すと、クリップボードにコピーできます。



2.2.2.2. Microsoft Entra ID のシングルサインオン情報を MetaMoJi Cloud に登録する

- ①Web 管理ツールにログインし($P.\underline{6}$)、 [他のサービスでログインの設定] を選びます。
- ② [ID プロバイダ設定] 画面で、 [詳細設定] を押します (P.10) 。
- ③ [シングルサインオン (SAML)] タブの [ログイン URL] に、 $\underline{2.2.2.1 Microsoft}$ Entra 管理センターでシングルサインオン情報をダウンロード・記録する (P.16) で記録した [ログイン URL] を入力します。
 - ullet [プロビジョニング(SCIM)] タブは、 \underline{r} カウント連携オプション (P.5)を購入すると表示されます。



- ④ [証明書(Base64)] の [ファイルから読み込む] を押し、 $\underline{2.2.2.1 Microsoft\ Entra\ 管}$ $\underline{\underline{u}$ \underline{v} \underline{v}
- ⑤ [OK] を押します。

[IP プロバイダ設定]画面に「利用可能」と表示されます。



2.2.3. Microsoft Entra 管理センターでユーザーを割り当てる

2.2.3.1. 「MetaMoJi-Cloud-Servise」を選ぶ

- ①Microsoft Entra 管理センターに戻り、 [ID] を選びます (P.11) 。
- ② [アプリケーション] [エンタープライズアプリケーション] を選びます(P.11)。
- ③ [MetaMoJi-Cloud-Service] を選びます。



2.2.3.2. [MetaMoJi-Cloud-Servise] にユーザーを割り当てる

① [ユーザーとグループ] を選びます。



② [+ユーザーまたはグループの追加] を選びます。

③ [割り当ての追加] 画面で [選択されていません] を選びます。



④追加するユーザーをオンにし、 [選択] を押します。



- ③の[割り当ての追加]画面に戻り、オンにしたユーザーの名前が表示されます。
- ⑤ [割り当て] を押します。

[他のサービスでログイン] できるか確認します。

申特定のユーザーのみ [他のサービスでログイン] を [利用しない] に変更することもできます。→ 2.3.4Web管理ツールでユーザー情報を確認する (P.23)

19

2.3. ユーザー情報をプロビジョニングする設定

<u>ユーザー情報をMicrosoft Entra 管理センターからMetaMoJi</u> Cloudにプロビジョニングします。<u>2.1.</u> 共通の設定(P.6) と、<u>2.2.</u> [他のサービスでログイン] の設定(P.10) をしたあとで操作します。

● 限定ユーザーは、プロビジョニングを利用できません。

2.3.1. Web 管理ツールでプロビジョニングに必要な情報を記録する

- ①Web 管理ツールにログインし(P.6)、[他のサービスでログインの設定]を選びます。
- ② [ID プロバイダ設定] 画面で、 [詳細設定] を押します。 (P.10)
- ③ [プロビジョニング (SCIM)] タブを押します。
 - [プロビジョニング(SCIM)]タブは、<u>アカウント連携オプション</u>(P.<u>5</u>)を購入すると表示されます。



④プロビジョニングの情報を記録します。

[テナントの URL]と[シークレットトークン]を記録します。

2.3.2. プロビジョニングで新規登録されるユーザーの初期状態を設定 する

- ⑤「デフォルトログイン方法」で「他のサービスでログイン」を「利用する」にします。
- ⑥利用する [ライセンス] をオンにします。
- ⑦ [ユーザー削除時のフォルダ設定] を選びます。 プロビジョニングからユーザーを削除したとき、ユーザーが保持していたフォルダを引き継ぐ場合は [引き継ぎ設定] をオンにし、引き継ぐユーザーのユーザーID を入力します。
- ⑧ [OK] を押します。

2.3.3. プロビジョニング情報を Microsoft Entra 管理センターに登録 する

- ① Microsoft Entra 管理センターにサインインし、 [ID] を押します (P.11) 。
- ② [アプリケーション] [エンタープライズアプリケーション] [MetaMoJi-Cloud-Service] を押します (P.18) 。
- ③ [プロビジョニング] を押します。



④ [+新しい構成]を押します。



⑤ [新しいプロビジョニング構成] 画面で [テナントの URL] と [シークレットトークン] に、2.3.1Web 管理ツールでプロビジョニングに必要な情報を記録するの④を入力します。



- ⑥ [接続のテスト] を押してから、 [作成] を押します。
- ⑦ [新しいプロビジョニング構成] 画面を×を押して閉じます。
- ⑧ [プロビジョニングの開始] を押します。



プロビジョニングが終わると、[完了済み]に完了日時が表示されます。

2.3.4. Web 管理ツールでユーザー情報を確認する

Web管理ツールにログイン $(P.\underline{6})$ して [ユーザー管理] を選び、ユーザーが作成されていることを確認します。



[同期(プロビジョニング)] について

一度でもプロビジョニングが行われると、[同期(プロビジョニング)]にチェックマーク (レ)が付きます。プロビジョニング開始後は、Web管理ツールではなく、Microsoft Entra 管理センターでユーザーの管理(新規追加・変更・削除)をします。

MetaMoJi 製品の権限などを設定する

[名前]を押して表示される [ユーザー情報の変更] 画面で、ユーザーごとに設定を確認・変更できます。変更方法は、管理者ガイドでご確認ください。

- 製品のオプションやエディション
- ユーザー権限や属性
- [他のサービスでログイン] を [利用しない] に変更

3. 付録

3.1. ログアウト情報を追加登録する

3.1. は、すでに [他のサービスでログイン] をご利用中の方のみ必要な設定です。

→ 1.7. すでに [他のサービスでログイン] をご利用中の方へ (P.5)

3.1.1. MetaMoJi Cloud のログアウトに必要な情報を記録する

- ①Web 管理ツールにログインし(P.6)、 [他のサービスでログインの設定] を選びます。
- ② [ID プロバイダ設定] 画面で [詳細設定] を押します (P.10) 。
- ③ [シングルサインオン (SAML)] の [ログアウト URL] を記録しておきます (P.10) 。

3.1.2. Microsoft Entra 管理センターにログアウトに必要な情報を登 録する

- ① Microsoft Entra 管理センターにサインインし、「ID]を選びます(P.11)
- ② [アプリケーション] [エンタープライズアプリケーション] [MetaMoJi-Cloud-Service] を選びます (P.18)
- ③ [シングルサインオン] を選びます。



④ [①基本的な SAML 構成] の ✓ を押します。

⑤ [ログアウト URL] に3.1.1MetaMoJi Cloud のログアウトに必要な情報を記録する(P.24)の③を入力します。



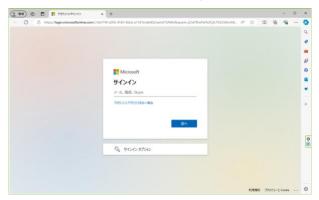
⑥ [保存] を押します。

<u>アプリケーション・ツール</u>から一度ログアウトします。次に対象製品へ [他のサービスでログイン] したときから3.1 の設定が有効となります。

3.2. Windows 版でログイン・ログアウトすると、Microsoft Edge が起動する

Windows版の $\underline{rプリケーション}$ では、 $\underline{[他のサービスでログイン]}$ の $\underline{3}$ で、Microsoft Edge(Web ブラウザ)が自動的に起動し、Microsoft Entra IDの認証画面が表示されます(2024年7月)。

①自動的に起動した Microsoft Edge で、Microsoft Entra ID の認証をします。



<u>アプリケーション</u>の画面は「Microsoft Edgeで認証を行ってください。」と表示されますが、 認証が終わると自動的にアプリケーションが起動します。

Microsoft Edgeの画面から起動することもできます。



- 「このサイトは(アプリケーション名)を開こうとしています。…」の画面で、 「mps.metamoji.comが、関連づけられたアプリでこの種類のリンクを開くことを常に 許可する」をオンにし、[開く]を押します。
- 自動的にアプリケーションが起動しない場合は[アプリを起動]を押します。
- ②アプリケーションが起動できたら、Microsoft Edge は閉じておきます。

また、Windows版では、 $\underline{アプリケーション}$ からログアウトするときにもMicrosoft Edge(Webブラウザ)が自動的に起動します。ログアウトしたら、Microsoft Edgeを閉じます。

